

















～阿久比谷虫供養～

<p>見どころ①</p>  <p>午後1時ころから、大道場で虫供養念仏が始まります。導師の先導で同行衆によって百万遍念仏が唱和され、大数珠が操られます。</p>	<p>見どころ②</p>  <p>供養場には大道場と8つの小屋が設けられ、それぞれに掛軸が飾られます。各小屋ではローソクがともり、“小屋番”と呼ばれる人たちが鉦をたたいています。</p>	<p>見どころ③</p>  <p>会場に立てられた大塔婆<small>おおとうば</small>の下の砂山を小さな子どもに素足で踏ませると、「かんの虫封じ」や「健やかに成長できる」と言い伝えられています。</p>	<p>見どころ④</p>  <p>夕方が近づくと次の当番地区への受け渡しが行われます。この受け渡しから虫供養の行事が始まると言われています。</p>
--	---	---	--

掛軸の紹介

虫供養に出掛けたら掛軸に注目してください。十二幅の町指定文化財(昭和五十八年九月指定)の掛軸をはじめ、貴重なものばかりです。掛軸は当番地区で寒干しや土用干しなどを行い、地区の寺などで大切に保管されます。印は町指定文化財です。

<p>☆往古阿弥陀仏</p> 	<p>☆阿弥陀三尊仏</p> 	<p>☆山越阿弥陀仏</p> 	<p>☆十王絵図</p> 
↓			
<p>☆三尊阿弥陀仏</p>  <p>一番小屋</p>	<p>☆阿弥陀如来と二十五菩薩</p>  <p>二番小屋</p>	<p>☆阿弥陀如来と十六羅漢</p>  <p>三番小屋</p>	<p>☆道元禪師</p>  <p>四番小屋</p>
↓			
<p>如意輪観音座図(右) 虫供養白描画軸(左)</p>  <p>八番小屋</p>	<p>☆一枚起請文</p>  <p>七番小屋</p>	<p>☆円光大師</p>  <p>六番小屋</p>	<p>☆普賢菩薩(左) ☆釈迦如来(中央) ☆文殊菩薩(右)</p>  <p>五番小屋</p>